大学･高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　ハイレベル枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F108110101423	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）
大学名	筑波大学	設置区分	国立	事業計画名	世界･社会をキャンパスとした筑波大学情報系トップ人材育成機能強化事業
学校種	大学	都道府県	茨城県		

1.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞53人、＜修士＞270人、＜学士＞280人 理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士後期課程）：25人 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士後期課程）：16人 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士後期課程）：12人 理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士前期課程）：116人 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士前期課程）：100人 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士前期課程）：54人 理工学群工学システム学類：130人 情報学群情報科学類：80人、3年次編入学定員10人 情報学群情報メディア創成学類：50人、3年次編入学定員10人 7月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士前期課程）、 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士前期課程）、 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士前期課程） 入学定員の改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出予定 3月　理工学群工学システム学類、情報学群情報科学類、情報学群情報メディア創成学類 収容定員関係学則変更計画書（意見伺い）提出予定	【情報系組織の入学定員】＜博士＞53人、＜修士＞270人、＜学士＞280人 理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士後期課程）：25人 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士後期課程）：16人 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士後期課程）：12人 理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士前期課程）：116人 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士前期課程）：100人 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士前期課程）：54人 理工学群工学システム学類：130人 情報学群情報科学類：80人、3年次編入学定員10人 情報学群情報メディア創成学類：50人、3年次編入学定員10人 7月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士前期課程）、 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士前期課程）、 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士前期課程） 入学定員の改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出 3月　理工学群工学システム学類、情報学群情報科学類、情報学群情報メディア創成学類 収容定員変更関係学則変更計画書（意見伺い）提出	○年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①　8月～　グローバル･マルチメンターシステム及び「修学×キャリア」ハイブリッド支援システムの構築準備、学修サロンハブ（オンサイト／メタバース）構築のための調査 ②　9月　R6年度増員分に係る募集内容の公表、ダブル･ディグリープログラムの開始 ③　10月　学生数増のための教育体制等の整備に向けた準備（増員組織担当教員･専門スタッフ公募） ④　1月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営工事に伴う調査の実施 ⑤　2月　R6年度増員分に係る入試実施、学則改正学内手続 ⑥　3月　R7年度増員分に係る収容定員関係学則変更申請（又は翌年6月）※例年7月に3年次編入学入試を行っているため、3月の申請を希望	①　8月～　グローバル･マルチメンターシステム及び「修学×キャリア」ハイブリッド支援システムの構築準備、学修サロンハブ（オンサイト／メタバース）構築のための調査 ②　9月　R6年度増員分に係る募集内容の公表、ダブル･ディグリープログラムの開始 ③　10～3月　学生数増のための教育体制等の整備に向けた準備（増員組織担当教員･専門スタッフ公募） ④　1～2月　R6年度増員分に係る入試実施、学則改正学内手続 ⑤　3月　R7年度増員分に係る収容定員関係学則変更申請 ⑥　システム情報工学研究群棟（仮称）を他の補助金を財源とする新棟との合築により整備することとし、整備期間を令和5～7年度の3年間から令和6～8年度の3年間に変更（R6.3.21承認）		
令和6年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞53人、＜修士＞360人、＜学士＞280人 4月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士前期課程） 34人増員予定（入学定員150人） 4月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士前期課程） 35人増員予定（入学定員135人） 4月　人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士前期課程） 21人増員予定（入学定員75人） 7月　理工学群工学システム学類、情報学群情報科学類、情報学群情報メディア創成学類 入学定員の改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出予定	【情報系組織の入学定員】＜博士＞53人、＜修士＞360人、＜学士＞280人 4月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士前期課程） 34人増員（入学定員150人） 4月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士前期課程） 35人増員（入学定員135人） 4月　人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士前期課程） 21人増員（入学定員75人） 7月　理工学群工学システム学類、情報学群情報科学類、情報学群情報メディア創成学類 入学定員の改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出	○年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①　4月　事業推進のための支援体制の整備（専門スタッフ3名採用） ②　4月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営工事（初年度）及び情報メディアユニオン棟等改修工事（初年度）の実施 ③　7月　R7年度増員分に係る概算要求 ④　7~2月　R7年度増員分に係る募集内容の公表、入試実施 ⑤　8月　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教員11名採用） ⑥　2月　R7年度増員分に係る学則改正学内手続 ⑦　3月　自己点検･評価結果とりまとめ･公表 ⑧　通年　グローバル･マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの体制構築･環境整備と第一次試行	①　4月　事業推進のための支援体制の整備（専門スタッフ2名採用）（R6.7.17承認） ②　4月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営に係る調査及び工事（初年度）のうち設計、情報メディアユニオン棟等改修工事（初年度）の実施 ③　7月　R7年度増員分に係る概算要求 ④　7~2月　R7年度増員分に係る募集内容の公表、入試実施 ⑤　2月　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教員1名採用）（R7.3.26承認） ⑥　2月　R7年度増員分に係る学則改正学内手続 ⑧　通年　グローバル･マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの体制構築･環境整備と第一次試行		
令和7年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞53人、＜修士＞360人、＜学士＞311人 4月　理工学群工学システム学類13人増員予定（入学定員138人、3年次編入学定員5人） 4月　情報学群情報科学類10人増員予定（入学定員86人、3年次編入学定員14人） 4月　情報学群情報メディア創成学類8人増員予定（入学定員54人、3年次編入学定員14人） 7月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士後期課程）、 理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士後期課程）、 人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士後期課程） 入学定員改訂に係る組織整備計画（概算要求調書）提出予定		○年度自己評価	リストから選択してください。
	①　通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ②　4月　学生数増のためのシステム情報工学研究群棟（仮称）新営工事（2年目）及び情報メディアユニオン棟等改修工事（2年目）の実施（竣工予定日：3月31日） ③　7月　R8年度増員分に係る概算要求 ④　9月　R8年度増員分に係る募集内容の公表 ⑤　2月　R8年度増員分に係る入試実施、学則改正学内手続 ⑥　3月　自己点検･評価結果とりまとめ･公表 ⑦　通年　グローバル･マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの第二次試行			
令和8年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞69人、＜修士＞360人、＜学士＞311人 4月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士後期課程） 7人増員予定（入学定員32人） 4月　理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士後期課程） 8人増員予定（入学定員24人） 4月　人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士後期課程） 1人増員（入学定員13人）		○年度自己評価	リストから選択してください。
	①　通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ②　5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③　3月　自己点検･評価結果とりまとめ･公表 ④　通年　グローバル･マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの本格運用開始 ⑤　通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検･改善、本学教学IR部門による分析			
令和9年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞69人、＜修士＞360人、＜学士＞311人		○年度自己評価	リストから選択してください。
	①　通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ②　5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③　3月　自己点検･評価結果とりまとめ･公表 ④　通年　グローバル･マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施･点検･改善 ⑤　通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検･改善、本学教学IR部門による分析			
令和10年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞69人、＜修士＞360人、＜学士＞311人		○年度自己評価	リストから選択してください。
	①　通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ②　5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③　3月　自己点検･評価結果とりまとめ･公表 ④　通年　グローバル･マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施･点検･改善 ⑤　通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検･改善、本学教学IR部門による分析			
令和11年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞69人、＜修士＞360人、＜学士＞311人		○年度自己評価	リストから選択してください。
	①　通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ②　5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③　3月　自己点検･評価とりまとめ･公表 ④　通年　グローバル･マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施･点検･改善 ⑤　通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検･改善、本学教学IR部門による分析			
令和12年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞69人、＜修士＞360人、＜学士＞311人		○年度自己評価	リストから選択してください。
	①　通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ②　5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③　3月　自己点検･評価とりまとめ･公表 ④　通年　グローバル･マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施･点検･改善 ⑤　通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検･改善、本学教学IR部門による分析			
令和13年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞69人、＜修士＞360人、＜学士＞311人		○年度自己評価	リストから選択してください。
	①　通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ②　5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ③　10月　外部評価の実施 ④　3月　外部評価結果の公表 ⑤　通年　グローバル･マルチメンターシステム、「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム、学修サロンハブの実施･点検･改善 ⑥　通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検･改善、本学教学IR部門による分析			
令和14年度	【情報系組織の入学定員】＜博士＞69人、＜修士＞360人、＜学士＞311人		○年度自己評価	リストから選択してください。
	①　通年　学生数増のための教育体制の整備（増員組織担当教職員の継続配置） ②　通年　外部評価結果を受けた改善方策の検討、順次実施 ③　5月　前年度修了者の進路状況とりまとめ ④　3月　自己点検･評価とりまとめ･公表 ⑤　通年　学生の学修状況、修了生アンケート、企業アンケート等を踏まえたカリキュラムの点検･改善、本学教学IR部門による分析			

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	筑波大学

２.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

ⅰ） 学生募集停止中の大学

該当無し	■ チェック

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	■ チェック

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	■ チェック

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	■ チェック

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	■ チェック

３.申請要件の取組状況

令和5年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	確認を受けている	■ チェック
		対象に該当しない	□ チェック
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）	計画通りに進んでいる	■ チェック
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑥	特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑧	教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）	既設の情報系分野に係る研究科等を有する	■ チェック
⑨	機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑩	計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑪	国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。	計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	■ チェック
⑫	教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑬	文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている、又は対象に該当しない	■ チェック
		認定を受ける計画が進んでいる	□ チェック
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない	□ チェック

認定を受けていないが申請する意向がある。

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	筑波大学

４－１.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■つくば市は、R元年度に国土交通省「スマートシティモデル」事業先行モデルプロジェクト（全国で15事業）に採択されており、R4年度に内閣府「スーパーシティ型国家戦略特区」に指定された。これらの事業は本学のシステム情報系も密接に関連し、増員対象組織の教員も一部参画している。ここから得られる社会実装的な問題を教育研究の題材にも活用し、教育研究の題材として高度化を図ることができる。 ■博士後期課程学生のインターシップ推進の観点から、学生への給付金を含む企業とのパートナーシップ協定を締結している。現在、「NEC・筑波大学DXリーダー育成戦略パートナーシップ協定」（R4.4締結）と「UiPath・筑波大学DXスペシャリスト育成戦略パートナーシップ協定」（R4.11締結）の2協定を締結しており、これを活用するとともに、同様の連携協定を結ぶ企業を増やし、拡充を図る。 ■先端的ITベンチャー7社をパートナー企業として、PBL型の「組み込み技術キャンパスOJT」を実施。14年の実績を持ち330名を超える若手技術者を育成（第2期enPiTにも組込）した。これを基盤に実践的教育の質と量の一層の向上を図る。（情報学群を中心に実施）	■つくば市との連携を強化・推進するため、毎月１回以上の頻度で打合せを行っている。R6年1月18日に開催した「つくばスーパーサイエンスシティの実現に向けた対話」セミナーでは、つくば市及び関連企業と関心のある学生と教員(34名)との間で、協働の可能性と先端的サービスに関する意見交換が行われ、相互理解が深まり、現実課題とリアルなデータに基づく人材育成の場としての可能性が見いだされた。 ■既存のNEC及びUiPathとの戦略パートナーシップについては、R5年度にも複数の学生がインターシップを行うなど、有効に活用されている。R6年3月21日に、豊富な動的・静的データを有する株式会社NTTデータと「MDA人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結した。また、同日、テレマティクスデータによるDXを通じて地域・社会の課題解決を目指すあいおいニッセイ同和損害保険株式会社と「人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結した。今後、高度情報人材育成に向けた具体的取組が期待される。 ■令和５年度においても、パートナー企業７社との産学協同教育プログラム「組み込み技術キャンパスOJT」を実施して22名の学生が受講し、第2期enpitにおいても29名の学生が受講した。令和５年度の第15期までで350名を超える情報学群生を教育し、優秀な技術者を輩出している。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■初等中等教育段階の生徒の関心に応じた個別指導やSTEAM教育を行うGFEST（高校生対象／H20年～）及びSKIP（小中学生対象／H29年～）を実施。米国科学コンテストISEF日本代表（6名）、国際科学技術オリンピック日本代表（10名以上）等の実績を持つ。これまで生物系を中心に実績を積んできており、今後情報系の拡充も進める。 ■情報分野における高大連携の取組として、H7～R3年度までに351件の出前授業・模擬講義・研究室体験等を実施（茨城県150件、東京都53件、埼玉県44件、福島県21件、群馬県20件ほか、要請に応じ全国的に展開）。今後も積極的に実施する。 ■茨城県と連携し、県立高校情報科の「情報I」の授業に本学学生を授業補助者として派遣する取組をR5年度から開始する。学生が高校教員とのチームティーチングにより授業に参画することで、高校の情報教育に貢献するとともに、学生の指導者としての資質向上を図る。	■令和5年度は、GFEST及びSKIP受講生94名に対し、パーソナルコンピュータ上で作成したプログラムをマイクロビット（物理デバイス）で実際に動かすアプリを作成する「プログラミング実習」や、本学の計算科学研究センター（全国共同研究施設）にてスーパーコンピューター「Cygnus」の見学やスーパーコンピューターを使用した研究についての講義を行う等、情報系プログラムの拡充を図った。 ■コロナ禍で急速にオンライン化が進んだことや高等学校で「情報I」が必修となったことで情報系の出前授業・模擬講義・研究室体験等の要望が高まり、令和5年度は、コロナ禍以前(※)より多い年間30件を超えた（※H7～R3年度までの27年間で351件、年平均13件実施)。今後も増加が見込まれるため適宜連携を拡大していく。 ■令和5年度から、茨城県と連携して学生を県内の高等学校へ派遣し「情報I」の授業へ補助者として参画した。学生は生徒へ教えることで知識の定着を図ることができ、また教え方を試行錯誤することで新たな視点を得るなど、特に教職を希望する学生の成長にも繋がっている。なお、この取り組みは今後も継続することとしている。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■女子学生：女子中高生の理工系進路選択プログラムとして「リケジョ合宿」や「サイエンスカフェ」等を実施する（H25年度から実績あり。例年全国から女子中高生・保護者が参加）。全学組織としてジェンダー支援チームを設置しており、今後も幅広く取組を推進する。 ■社会人学生：大学院において社会人特別選抜、昼夜開講制、長期履修制度を活用する。博士後期課程においては、一定の研究業績や能力を有する社会人を対象として最短1年で課程博士を取得できる早期修了プログラムを実施する（H19年度の開始からR4年度までに520人が履修し、446人が1年で修了している）。 ■留学生：大学院においては一般入試による留学生受入に加え、海外居住者対象特別選抜、国費留学生優先配置特別プログラム等を行う。さらにグルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラムを準備している（R5年9月開始予定）。学士課程においては、英語プログラムを継続実施するとともに、令和7年度から学群入学定員の5%を留学生や帰国生徒等を対象とした募集人員として設定する。	■女子学生：システム情報工学研究群の対象学位プログラムでは、オープンキャンパスの説明者に女子学生を起用し、ロールモデルの紹介や参加者との意見交換の機会を設けている。人間総合科学研究群情報学学位プログラムでは、大学院説明会において女子学生を起用し、現役大学院生としての経験談の紹介や進学希望者からの質疑応答の機会を設けている。 ■社会人学生：システム情報工学研究群の対象学位プログラムでは、社会人特別選抜を実施し、令和６年度入試では博士前期課程で８名（志願者９名）、博士後期課程で１６名（志願者１６名）の入学者を得た。また、社会人学生への配慮として研究指導系の科目を昼夜開講制により実施する外、長期履修制度については令和６年度は博士前期課程で２名、博士後期課程で８名が利用し、博士後期課程を対象とした早期修了プログラムについては令和５年度において８名の修了者を輩出し、令和６年度は７名が履修中である。人間総合科学研究群情報学学位プログラムでは、社会人特別選抜を実施し、令和６年度入試では博士前期課程で1名（志願者1名）、博士後期課程で2名（志願者2名）の入学者を得た。長期履修制度については、令和６年度は博士前期課程で8名、博士後期課程で6名が利用している。また、働きながら司書としてのキャリアアップ等を目指す履修証明プログラムである図書館経営管理コースを実施しており、令和5年度は9名が修了するとともに、前年度の履修者1名が博士前期課程の社会人学生として入学した。 ■留学生：システム情報工学研究群の対象学位プログラムでは海外居住者対象特別選抜を実施し、博士後期課程で志願者４名に対し3名の合格者（令和６年４月入学１名、同10月入学予定２名）を得た。また、国費留学生優先配置特別プログラム入試を実施し、博士前期課程で4名（志願者５名）、博士後期課程で４名（志願者６名）の入学者を得たほか、令和５年９月に開始した博士前期課程を対象としたグルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラムにおいて本学に２名（志願者２名）の入学者を得た。人間総合科学研究群情報学学位プログラムでは、英語受験者特別選抜を実施し、博士前期課程で志願者15名に対し6名の合格者（令和６年10月入学予定）、博士後期課程で志願者2名に対し2名の合格者（令和６年10月入学予定）を得た。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■Campus-in-Campus（CiC）協定（10校）、大学間国際交流協定（172校）、情報分野の部局間国際交流協定校（22校）を活用し、学生・教職員の派遣・受入を積極的に行う。（CiC：海外パートナー大学とのキャンパス機能の共有に向けた取組） ■これらの国際ネットワークを活用し、海外協定大学等の研究者を含む協働研究指導を可能とする「グローバル・マルチメンターシステム」を構築し、学生の研究の高度化と国際通用性を高める枠組みとして機能させる。 ■国際的にもリーダーシップを発揮できる高度情報専門人材の育成機能を強化する観点から、情報理工学位プログラム（博士前期課程）において、グルノーブル・アルプ大学（フランス共和国）とのダブル・ディグリープログラムを準備中である（R5年9月開始予定）。これを先導として、他の協定校とも同様な連携を図る。	■令和６年３月にCiC協定校であるオハイオ州立大学に担当教員を派遣し、「グローバル・マルチメンターシステム」（以下「GMMS」と言う。）の構築に向けた議論を開始した。また、オハイオ州立大学から筑波大学に訪問した学生と共同セミナーを開催した等、GMMSの構築のための活動を行っている。 ■GMMSの一部として、国内外の研究者の研究内容について講演、学生の研究に関する相談・指導を内容とするMDA分野融合ゼミナールを「MDA研究のフロンティア」というテーマで開設し、10名の学生が履修した。また、今後のGMMSの構築・発展のために、既存活動の調査を含め、関連学位プログラムの教員が協議を行っている。 ■情報理工学位プログラムでは令和５年９月に開始した博士前期課程を対象としたグルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラムにおいて本学に２名（志願者２名）の入学者を得た。本学からも２名の学生を選抜し、先方への入学手続きを進めている。また、ルール大学ボーフム（ドイツ連邦共和国）との博士前期課程を対象としたダブルディグリープログラム締結に向けて、準備を進めている。 ■情報学学位プログラムと情報理工学位プログラムは令和５年１２月、米国・シカゴ大学コンピューター学部とサマーリサーチプログラム実施のための覚書を締結した。この結果、令和６年度から、筑波大学、シカゴ大学において選抜された大学院生（修士）が、２ヶ月間、シカゴ大学の研究室において、シカゴ大学教員の指導を受けて、研究活動を行うことが可能となった。 ■全学的な国際交流協定の締結状況は次のとおり（括弧内は前年比）。Campus-in-Campus（CiC）協定（13校）（+3）、大学間国際交流協定（170校）（-2）、情報分野の部局間国際交流協定校（22校）（±0）。	

４－２.審査要項における確認項目（３つの取組、６つの観点）の計画及び取組状況

令和5年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ申請時の計画を記載してください（３つの取組のみ計画の記載は不要です）。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

＜３つの取組＞

■ チェック [１]海外のトップ大学と連携するなどして、デジタル分野の第一人者として国際的に活躍できる世界トップレベルの研究者や技術者の輩出を図る取組となっているか。
□ チェック [２]デジタル人材の不足を解消するために、自大学の教育の高度化や定員の大幅な拡充を図るのみならず、他の大学・高等専門学校の学生も広く参加可能な優れた情報教育プログラムを横展開させる取組となっているか。
■ チェック [３]地域や国の産業戦略とも連携しながら、企業等の具体的な実務課題の解決に取組むことで企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材を継続的に多数輩出することにより、地域や我が国の産業振興に大きく資する取組となっているか。

取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
[１]海外のトップ大学と連携するなどして、デジタル分野の第一人者として国際的に活躍できる世界トップレベルの研究者や技術者の輩出を図る取組となっているか。 ■GMMSを構築するために、令和6年2月に情報理工学位プログラム、知能機能システム学位プログラムおよび情報学学位プログラムの担当教員等で構成される「高度情報人材育成推進委員会」を設置し、GMMS推進のための方針、具体的業務内容、役割分担等の検討を鋭意進めている。 ■GMMSの一環として、国内外の研究者の研究内容について講演、学生の研究に関する相談・指導を内容とするMDA分野連携/融合ゼミナールを「MDA研究のフロンティア」というテーマで開設し、10名の学生が履修した。 ■令和６年３月にCiC協定校であるオハイオ州立大学に担当教員を派遣し、GMMSの構築に向けた議論を開始した。また、短期留学生の受け入れ（情報理工学位プログラム15名、情報学学位プログラム10名）オハイオ州立大学から筑波大学に訪問した学生と共同セミナーを開催した等、GMMSの構築のための活動を行っている。 [３]地域や国の産業戦略とも連携しながら、企業等の具体的な実務課題の解決に取組むことで企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材を継続的に多数輩出することにより、地域や我が国の産業振興に大きく資する取組となっているか。 ■博士学位取得と社会でのキャリア形成を同時進行する「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム（以下「LCHS」と言う。）を構築するために、令和6年2月に情報理工学位プログラム、知能機能システム学位プログラムおよび情報学学位プログラムの担当教員等で構成される「高度情報人材育成推進委員会」を設置し、LCHS推進のための方針、具体的業務内容、役割分担等の検討を鋭意進めている。 ■令和4年に政府からスーパーシティ型国家戦略特別区域に指定され、つくばスーパーサイエンスシティ構想を推進するつくば市や、この構想に連携して取り組む企業等の実務課題解決に取り組む学生の発掘のため、対話セミナーを令和6年1月に実施し、今後の高度情報専門人材育成への向けた活動に着手した。今後、つくば市や我が国に先端的サービスが社会実装され、行政サービスの向上とともに産業の振興が期待される。 ■令和5年度には、66の企業・団体との新たな連携関係を構築した。また、前述のとおり株式会社NTTデータ及びあいおいニッセイ同和損害保険株式会社の2社とそれぞれ人材育成戦略パートナーシップを締結し、特に連携に前向きな企業との連携関係を強化した。こうした企業等が参加する授業やセミナーを複数実施するなど、高度情報専門人材を育成するための基本的なしくみを構築した。	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	筑波大学

＜６つの観点＞

①　大学院博士課程を含め、情報系分野の大学院において、大規模な定員増を実施する計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士前期課程90人、博士後期課程16人を増員する計画である。この計画により、 【博士前期課程】これまでの合計募集人員270人に対し、33.3%の定員増。R2からの実入学者数の年平均値330人に対し、合計新規定員360人 【博士後期課程】これまでの合計募集人員53人に対し、30.1%の定員増。R2からの実入学者数の年平均値67人に対し、合計新規定員69人 となる。この増員とともに、前記の３つの取組を行い質的な向上を図る。本事業により、トップ人材育成の実施母体である博士後期課程とその裾野となる博士前期課程を拡充し、また学士課程の増員も行って、トップ人材育成の基盤を強化する。増員対象組織は、これまで学生確保の十分な実績を有しており、増員後も安定的な学生確保が可能である。	■申請時の計画に従って、博士前期課程においてこれまでの合計募集人員270人に対し、90人（33.3%）の定員増を行った。定員増に応じた募集人員により入学試験を行った結果、合計新規定員360人に対し356名の入学者を得た。博士後期課程については年次計画に従って令和8年度からの増員に向けた準備を進めている外、学士課程については令和６年３月に「収容定員関係学則変更計画書」を文科省に提出した。	

②　広く企業や自治体等と連携し、企業や自治体等が求める人材ニーズに的確に応える計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士学位取得と社会でのキャリア形成を同時進行するLCHSを構築し、博士後期課程に進学した学生に、学生が志向するキャリア形成に資する長期インターンシップ等を組み込んだエキスパート人材育成を展開する。博士前期学生に対して、就職希望先との繋がりを確保しつつ博士後期に進学できるよう、企業との戦略的パートナーシップを構築し、これまで博士後期進学が望まれながらも修士取得後就職を選択していた優秀な学生層に対して、博士学位取得への強いインセンティブを創出し、社会の人材ニーズを的確に捉えたより高度な情報専門人材を蓄出する。すでに本学は学生への給付金を含む企業とのパートナーシップ協定を2件締結しており（後述）、今後も拡充を図りながら取組を推進する。また、R4年度につくば市が内閣府「スーパーシティ型国家戦略特区」に指定を受けた「つくばスーパーサイエンスシティ構想」では、大学・国研連携型スーパーシティの実現が掲げられている。その実現に向けた取組の中で、デジタル・情報系分野の教育研究の一層の高度化を図る。	■LCHS構築の一環として、R6年3月21日に、株式会社NTTデータと「MDA人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結した<https://www.tsukuba.ac.jp/news/20240415093000.html >。今後、両者は対話を深め、NTTデータが有する静的・動的データとAIを活用した新たな価値の創造や、データの価値向上のための研究を進める。また、筑波大学の学生をNTTデータに派遣するなど、MDA分野をリードする人材の育成を推進する。 ■令和4年に政府からスーパーシティ型国家戦略特別区域に指定されつくばスーパーサイエンスシティ構想を推進するつくば市やこの構想に連携して取り組む企業等の実務課題解決に取り組む学生の発掘のための対話セミナーを実施し、今後の高度情報専門人材育成への向けた活動に着手した。	

③　連携企業等からの寄附等、外部資金の持続的な獲得が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士レベルの高度情報専門人材育成の充実を図るため、企業が寄付金も拠出する戦略的パートナーシップ協定の締結を順次進めている。この協定に基づき、学生は企業においてDX分野の共同実務及び共同研究に従事して実践的能力を高めるとともに、相応の給付金を得る。現在、「NEC・筑波大学DXリーダー育成戦略パートナーシップ協定」（R4.4締結）と「UiPath・筑波大学DXスペシャリスト育成戦略パートナーシップ協定（R4.11締結）の２協定を締結しており、今後も同種の協定を増やし、寄付金総額も増加するよう勧誘する。なお、システム情報工学研究群関係では、企業・研究機関とのコンソーシアムを基盤として学位プログラムを運営する協働大学院方式も独自に設けており、外部専門家47人が、連携大学院教員・協働大学院教員として研究指導等に参画している（R4.5.1現在）。これらにより産業界等との連携を深め、学外の人的・物的リソースを活用し大学院教育の充実・高度化も進める。この連携が学内教員との共同研究も生み、共同研究費などの獲得にも繋げる。	■既存のNECとの戦略パートナーシップに基づき、R5年夏に２名の博士前期課程の学生がインターンシップに参加し、相応の給付金を得た。R6年3月21日に、豊富な動的・静的データを有する株式会社NTTデータと「MDA人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結した。また、同日、テレマティクスデータによるDXを通じて地域・社会の課題解決を目指すあいおいニッセイ同和損害保険株式会社と「人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結した<https://www.tsukuba.ac.jp/news/20240415153000.html >。今後、高度情報人材育成に向けた具体的取組が期待される。これら２社については、価値の高いデータの利用が寄附金相当の価値を持つと考えているが、寄附金増加のための勧誘・協議を開始した。 ■システム情報工学研究群では、外部専門家42人（R6.5.1現在）の参画を得て、連携大学院方式及び協働大学院方式による研究指導を実施し、産業界等との連携の深化と、大学院教育の充実・高度化に引き続き務めている。	

④　高度情報専門人材を育成する大学・高等専門学校において質の高い教育を行う教員を養成・輩出する取組（当該分野の大学教員等の育成）を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学MDA教育のトップ人材育成においては、イノベーション創出力に優れ、かつ社会が要請するMDA人材を育成できる素養を持ち、アカデミアや産業界のリーダーとなる人材の育成を目指している。このため、特に優秀な学生を10名程度選抜し、「トリプル・メンター制」（MDA分野、学際的融合研究を実施する分野、MDA関連企業等から各１名を指定し第一級の研究者３名による研究指導）、「トップ人材養成特別演習」（トップ企業人やベンチャー企業人により徹底して人材育成とMDA応用のスキルを涵養）、「特別リサーチアシスタントへの任命」（計算科学研究センターにおいて高度なAI研究に従事）による特別教育を行う枠組みがすでに構築されている。この枠組みの中に、GMMSから参画できる教員や研究者を加えることができ、この枠組みがさらに強化できる。特にGMMSに参加する海外大学の優れた教育方法も参照でき、学生が将来アカデミアになった場合の教員資質の向上にも役立つ。博士後期課程の学生が担当教員の下で授業も行うティーチング・フェローの制度により、これらに係る研修及び業務の経験から指導者としての資質向上も図られる。	■GMMSから参加する海外大学の教員や研究者を確保するために、令和6年2月に情報理工学位プログラム、知能機能システム学位プログラムおよび情報学学位プログラムの担当教員等で構成される「高度情報人材育成推進委員会」を設置し、学生と海外の教員や研究者とマッチングを図る仕組みの検討を鋭意進めている。 ■茨城工業高等専門学校とシステム情報工学研究群との連携協定に基づき、夏に大学院生（留学生）をチューターとして先方に派遣し、授業でのディスカッションを支援する取組を行っている。先方と協業しながら、高専での教育に携わる機会を提供することで質の高い教育ができる教員の養成に努めている。	

⑤　連携企業等から実務経験のある人材の大学への派遣、学生が連携企業等においてインターンシップを実施する体制の構築、連携企業等との共同研究実施が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士学位取得と社会でのキャリア形成を同時進行するLCHSを構築する過程で、学生が連携企業等においてインターンシップを行う体制が整う。また、本学MDAトップ人材育成の枠組みにおいて、連携企業等からの実務経験のある技術者あるいは企業研究者が講義を担当する科目も開設しており、増員対象組織の大学院に属する学生は、これらの講義を受講できる。なお、前述のように、学生が企業においてDX分野の共同実務及び共同研究にインターンシップとして従事して実践的能力を養うとともに、給付金を受けることができることを定めた協定を２件すでに締結しており、今後も同種の協定企業を増やす。また、連携大学院・協働大学院方式による外部専門家の研究指導等への参画を継続・充実させる。さらに、ハイレベル枠の取組の説明の3番目で記したように、デジタル・情報系に関わる民間企業の研究所を含む外部研究機関とのネットワークを充実させ、学生が自身の研究遂行に資する指導が受けられると期待できる教員・研究者と繋がることを支援する枠組みを整える。これにより、企業との共同研究も創発される。	■令和5年11月に連携企業を拡大するための取組を実施し、66社との新たな連携関係を構築した。また、令和5年10月と令和6年1月に学生と企業が直接繋がるためのセミナーを開催し、連携関係をいっそう強化した。学生からは、「セミナーで得た情報を踏まえて修士の研究計画を考えている」との声があった。また、令和5年10月に、増員対象組織の大学院に属する学生が受講可能なMDA関連科目を新設した。長期インターンシップの際に給与または給付金が支給され得る人材育成戦略パートナーシップ協定を新たに２社（株式会社NTTデータ及びあいおいニッセイ同和損害保険株式会社）と締結した。浜銀総研をはじめとした複数の民間企業研究所と新たなネットワークを構築し、随時対面及びオンライン打合せを開催するなど、学生等と繋がるためのしくみ作りと情報交換を行った。 ■知能機能システム学位プログラムにおいては、令和5年11月に2社の連携企業から実務経験のある技術者が参加して、企業における問題解決に関する講義（話題提供、質疑、レポート考察課題の出題）およびインターンシップの受け入れについて説明した。情報学学位プログラムの実践指導科目である「研究インターンシップ」においては、令和5年度は博士後期学生3名が他大学と研究インターンシップ実施契約を締結し、研究室等でインターンシップを実施した。	

⑥　他大学等の学生も参加できる情報教育プログラムの実施や教材作成等を含む質の高い取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
他大学と共同した教育活動として、グルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラム（修士）が令和5年度中に開始される予定であり、本計画の先導となる。この枠組みを本計画でも取り込むことにより、本学と相手大学双方の教育課程を履修しそれぞれの学位を取得することができる。この種の海外協定を今後増やす。このプログラムは相手大学の学生も参加し、相互の学生が参加する情報系のスキル向上を目指すPBLや研究討論などを行うことを計画している。相手大学の学生との交流により、本学の学生が自ら、他大学の教育・研究内容との相違や利点などを知ることもできる。なお、その学生の外部組織での経験が、本学内の指導教員に伝わることにより教員自身の啓発にもつながる可能性もある。この場合は、当該学生が本学内の指導教員に様々な経験を伝えるリバースメンターとなることになるが、その過程で当該学生のティーチング力もまた磨かれることになる取組である。LCHSの取組による企業インターンの経験も含め、学生が受けることが可能な経験が多層的になることが大きな特長である。本学のMDA教育実践の成果は対象学生の体験などもふまえた内容とし、学生の協力も得てマニュアル教材化し、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム等を通じて他大学と共有する。	■令和５年９月に開始した博士前期課程を対象としたグルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラムにおいて本学に２名（志願者２名）の入学者を得た。また、ルール大学ボーフム（ドイツ連邦共和国）との博士前期課程を対象としたダブルディグリープログラム締結に向けて、準備を進めている。 ■令和６年３月にCiC協定校であるオハイオ州立大学に担当教員を派遣し、GMMSの構築に向けた議論を開始した。また、オハイオ州立大学から筑波大学に訪問した学生と共同セミナーを開催した等、GMMSの構築のための活動を行っている。 ■令和5年度において英語で実施される講義の受講を目的とした海外協定校からの短期留学生の受け入れを情報理工学位プログラムでは15名、情報学学位プログラムでは10名実施している。	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	筑波大学

５－１.大学院（修士課程、博士課程）における学生の研究活動実績

令和5年度 大学院在籍学生の論文の採択・受賞状況や各コンペティション等の受賞状況、筆頭著者論文数等、学生の研究活動実績を記載してください。

■システム情報工学研究群対象学位プログラムの実績
・国内外の学術雑誌（研究ジャーナル）への論文の採択・掲載（掲載決定も含む） 49本（うち、筆頭著者論文38本、査読付き論文42本）
・国内外の学会や会議、シンポジウム等での発表（ポスター発表も含む） 236件
・学術研究に関するコンペティション等での受賞等 12件
・官民の機関や団体等からの研究助成 27件

■情報学学位プログラムの実績
・査読制度のある学術雑誌へ投稿し受理された論文件数 10件
・査読制度のある国際会議録へ投稿し受理された論文件数 26件
・著書件数 4件
・口頭発表件数 45件
各種受賞
・学会受賞 3件
・フォーラム受賞 1件
◎大学のウェブサイトの情報発信等URL（各種受賞：https://informatics.tsukuba.ac.jp/category/awards-cl/）

５－２.大学院（修士課程、博士課程）における学生の卒業後の進路状況

令和5年度 大学院卒業者の卒業後の進路状況を記載してください。就職先企業名や研究機関名、業種、職種、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。

【情報理工学位プログラム(博士前期)】：就職 109名、進学 13名、その他 ７名
◆就職先内訳 企業・団体等：105名、自営業：2名、職務復帰：2名
主な就職先
・メーカー：LG電子、ソニーセミコンダクタソリューションズ㈱、パナソニック㈱、クボタ㈱、リコー㈱、㈱村田製作所、㈱東芝、㈱日立製作所、大日本印刷㈱、東京エレクトロングループ、日本電気㈱、富士通㈱ 等
・ソフトウェア・通信：KDDI㈱、LINE㈱、NTTデータ㈱、ソニーグローバルソリューションズ㈱、チームラボ㈱、ヤフー㈱、㈱NTTドコモ、㈱インターネットイニシアティブ、㈱カプコン、㈱コナミデジタルエンタテインメント、㈱ディー・エヌ・エー、㈱ドワンゴ、㈱ブレインパッド、㈱野村総合研究所、日鉄ソリューションズ㈱ 等
・金融：㈱三菱UFJ銀行、㈱みずほ銀行、第一生命保険㈱、野村證券㈱
・商社：㈱MonotaRo
・マスコミ：㈱サイバーエージェント
・サービス：コナミ㈱、シンプレクス・ホールディングス㈱、セガサミーホールディングス㈱、㈱コナミアミューズメント、㈱リクルート、㈱日立マネジメントパートナー
◆進学先内訳
主な進学先 筑波大学：10名、大阪大学：1名、東京工業大学：2名
【情報理工学位プログラム(博士後期)】：就職 20名、その他 2名
◆就職先内訳 企業・団体等：7名、教員3名、研究員：4名、職務復帰6名
主な就職先
・メーカー：日産自動車㈱、日本電気㈱、レノボ・ジャパン㈱
・ソフトウェア・通信：GMOインターネットグループ㈱、ヤフー㈱、楽天㈱
・マスコミ：㈱サイバーエージェント
・教員：青山学院大学、China Pharmaceutical University(中国)、Sohag University(エジプト)
・研究員：国立研究開発法人物質・材料研究機構、名古屋大学、湖南大学(中国)、King Abdullar University of Science and Technology(サウジアラビア)

【知能機能システム学位プログラム(博士前期)】：就職 97名、進学 13名、その他 10名
◆就職先内訳 企業・団体等：95名、研究員：1名、アルバイト：1名
主な就職先
・メーカー：カワサキモータース㈱、キオクシア㈱、キヤノン㈱、セイコーエプソン㈱、ソニーセミコンダクタソリューションズ㈱、ソニー㈱、トヨタ自動車㈱、パナソニック㈱、ヤンマー㈱、ルネサスエレクトロニクス㈱、㈱SUBARU、㈱アシックス、㈱ブリヂストン、㈱島津製作所、㈱日立ハイテク、㈱日立製作所、三菱電機㈱、大日本印刷㈱、日産自動車㈱、日本電気㈱、富士通㈱、本田技研工業㈱ 等
・ソフトウェア・通信：LINEヤフー㈱、NTTコムウェア㈱、アクセンチュア㈱、アビームコンサルティング㈱、ソフトバンク㈱、㈱NTTドコモ、㈱コナミデジタルエンタテインメント、㈱セガ、㈱三菱総合研究所、㈱大和総研、㈱電通交際情報サービス、㈱電通総研、㈱日鉄ソリューションズ㈱、日本電気通信システム㈱、任天堂㈱、富士フイルムメディカル㈱ 等
・金融：㈱ネットプロテクションズ
・マスコミ：㈱TBSテレビ
・サービス：㈱JERA、㈱日立マネジメントパートナー、柳沈法律事務所(中国)
・研究員：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
◆進学先内訳
主な進学先 筑波大学：12名、名古屋大学：1名
【知能機能システム学位プログラム(博士後期)】：就職 15名、その他 1名
◆就職先内訳 企業・団体等：6名、教員：1名、研究員：3名、職務復帰：5名
主な就職先
・メーカー：㈱キビテク、CYBERDYNE㈱、徐州工業グループ(中国)
・ソフトウェア・通信：㈱とめ研究所、チームラボ㈱
・サービス：公益財団法人鉄道総合技術研究所
・教員：専修大学
・研究員：国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、Max-Planck Institute(ドイツ)

【情報学学位プログラム(博士前期)】：就職 49名、進学 10名、その他 8名
◆就職先内訳 企業・団体等：41名、公務員：3名、自営業：1名、職務復帰：4名
主な就職先
・メーカー：AlphaTheta、Ｓｋｙ㈱、ソニー㈱、ローランド㈱、㈱日立製作所、富士フイルムビジネスイノベーション㈱
・ソフトウェア・通信：MUS情報システム㈱、アバナード㈱、アビームシステムズ㈱、エキサイト㈱、クックパッド㈱、ザイオソフト㈱、チームラボ㈱、ヤフー㈱、㈱FIXER、㈱GRCS、㈱NTTドコモ、㈱アイビス、㈱インターネットイニシアティブ、㈱NTTデータ、㈱スクエア・エニックス、㈱ソケッツ、㈱ソニー・インタラクティブエンタテインメント、㈱工芸精器製作所、㈱電通総研、東京ガスiネット㈱、日本マイクロソフト㈱、方正㈱ 等
・商社：㈱アップガレージグループ
・マスコミ：アットホーム㈱、㈱サイバーエージェント
・サービス：NetEase Games、㈱アカツキゲームス、㈱コーエーテクモグループ、㈱ベネッセコーポレーション、㈱ポリフォニー・デジタル、㈱リクルート
・公務員：調布市役所、東京都庁、横浜市立図書館
◆進学先内訳
主な進学先 筑波大学：8名、東京大学：1名、The University of Arizona(アメリカ)：1名
【情報学学位プログラム(博士後期)】：就職 7名、その他 1名
◆就職先内訳
主な就職先 企業・団体等：2名、教員：1名、研究員：2名、国立大学法人：1名
・メーカー：AlphaTheta
・ソフトウェア・通信：アドバンスソフト㈱
・教員：秋草学園短期大学
・研究員：筑波大学
・その他の専門的・技術的職業従事者：筑波大学

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	筑波大学

２.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

ⅰ） 学生募集停止中の大学

該当無し	■ チェック

ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	■ チェック

ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	■ チェック

ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	■ チェック

ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	■ チェック

３.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。	確認を受けている 対象に該当しない	■ チェック □ チェック
②	志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）	計画通りに進んでいる	■ チェック
④	特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑤	計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑥	特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑧	教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）	既設の情報系分野に係る研究科等を有する	■ チェック
⑨	機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑩	計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑪	国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。	計画通りに進んでいる、又は対象に該当しない	■ チェック
⑫	教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。	計画通りに進んでいる	■ チェック
⑬	文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている、又は対象に該当しない 認定を受ける計画が進んでいる	■ チェック □ チェック
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない	□ チェック

認定を受けていないが申請する意向がある。

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	筑波大学

４－１.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■つくば市は、R元年度に国土交通省「スマートシティモデル」事業先行モデルプロジェクト（全国で15事業）に採択されており、R4年度に内閣府「スーパーシティ型国家戦略特区」に指定された。これらの事業は本学のシステム情報系も密接に関連し、増員対象組織の教員も一部参画している。ここから得られる社会実装的な問題を教育研究の題材にも活用し、教育研究の題材として高度化を図ることができる。 ■博士後期課程学生のインターシップ推進の観点から、学生への給付金を含む企業とのパートナーシップ協定を締結している。現在、「NEC・筑波大学DXリーダー育成戦略パートナーシップ協定」（R4.4締結）と「UiPath・筑波大学DXスペシャリスト育成戦略パートナーシップ協定」（R4.11締結）の2協定を締結しており、これを活用するとともに、同様の連携協定を結ぶ企業を増やし、拡充を図る。 ■先端的ITベンチャー7社をパートナー企業として、PBL型の「組み込み技術キャンパスOJT」を実施。14年の実績を持ち330名を超える若手技術者を育成（第2期enPiTにも組込）した。これを基盤に実践的教育の質と量の一層の向上を図る。（情報学群を中心に実施）	■つくば市との連携において毎月1回以上の頻度で継続的に打合せを行っている。生成AI活用に関する共同研究を委託し、庁内における公式文書の意見集約、ならびに市民の合意形成支援事業を実施している。また、R7年3月1日にはつくば市におけるスーパーサイエンスシティ実現に向けた「つくばスーパーサイエンスデイ」イベントにて、関心のある学生らも参加し、市の問題・課題に関する意見交換を行うなど、現実課題に基づく人材育成の場が形成されている。 ■つくば市が有するデータの分析に基づく課題解決の取組を通じた人材育成を円滑に実施するため、R6年11月18日に、つくば市長との間に「秘密保持契約書」を締結した。既存の「筑波大学とつくば市との連携に関する協定書」と併せて、情報・研究成果等の円滑な交流と連携活動の枠組みが構築された。この新たな枠組みを活用し、11月下旬に環境エネルギー関連の2種類のデータがつくば市から提供された。 ■既存の戦略パートナーシップについては、対話セミナー、PBL授業、インターンシップなどに有効活用されている。R7年1月8日に、メタバースおよびエンタテインメント工学分野をリードする株式会社セガとの間に「MDA人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結し、同協定の締結数を5社に拡充した。高度情報専門人材育成のための連携の枠組みが強化され、具体的な取組が期待される。 ■知能機能システム学位プログラムの大学院セミナーの一環として、R6年11月5日に企業にもオープンな博士前期課程1年生を主としたポスター発表会を行った。32社53名が来場し、学生の発表に対して活発な質疑応答が行われ、学生に自身の研究内容に対して外部の人からのフィードバックを得る機会を提供した。 ■パートナー企業7社との産学協同教育プログラム「組み込み技術キャンパスOJT」を実施して27名の学生が受講し、第2期enPiTにおいても33名の学生が受講した。R6年度の第16期までで380名を超える情報学群生を教育し、優秀な技術者を輩出している。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■初等中等教育段階の生徒の関心に応じた個別指導やSTEAM教育を行うGFEST（高校生対象／H20年～）及びSKIP（小中学生対象／H29年～）を実施。米国科学コンテストISEF日本代表（6名）、国際科学技術オリンピック日本代表（10名以上）等の実績を持つ。これまで生物系を中心に実績を積んできており、今後情報系の拡充も進める。 ■情報分野における高大連携の取組として、H7～R3年度までに351件の出前授業・模擬講義・研究室体験等を実施（茨城県150件、東京都53件、埼玉県44件、福島県21件、群馬県20件ほか、要請に応じ全国的に展開）。今後も積極的に実施する。 ■茨城県と連携し、県立高校情報科の「情報I」の授業に本学学生を授業補助者として派遣する取組をR5年度から開始する。学生が高校教員とのチームティーチングにより授業に参画することで、高校の情報教育に貢献するとともに、学生の指導者としての資質向上を図る。	■GFEST及びSKIP受講生93名に対し、パーソナルコンピュータ上で作成したプログラムをマイクロビット（物理デバイス）で実際に動かすアプリを作成する「プログラミング実習」や、本学の計算科学研究センター（全国共同研究施設）にてスーパーコンピューター「Cygnus」の見学やスーパーコンピューターを使用した研究についての講義を行う等、情報系プログラムの拡充を図った。 ■コロナ禍で急速にオンライン化が進んだことや高等学校で「情報I」が必修となったことで情報系の出前授業・模擬講義・研究室体験等の要望が高まり、R6年度は、コロナ禍以前(※)より多い年間17件を超えた（※H7~R3年度までの27年間で351件、年平均13件実施）。今後も要望に適宜応じていく。 ■R6年度も引き続き、茨城県と連携して学生を県内の高等学校へ派遣し「情報I」の授業へ補助者として参画した。学生は生徒へ教えることで知識の定着を図ることができ、また教え方を試行錯誤することで新たな視点を得るなど、特に教職を希望する学生の成長にも繋がっている。なお、この取り組みは今後も継続することとしている。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■女子学生：女子中高生の理工系進路選択プログラムとして「リケジョ合宿」や「サイエンスカフェ」等を実施する（H25年度から実績あり。例年全国から女子中高生・保護者が参加）。全学組織としてジェンダー支援チームを設置しており、今後も幅広く取組を推進する。 ■社会人学生：大学院において社会人特別選抜、昼夜開講制、長期履修制度を活用する。博士後期課程においては、一定の研究業績や能力を有する社会人を対象として最短1年で課程博士を取得できる早期修了プログラムを実施する（H19年度の開始からR4年度までに520人が履修し、446人が1年で修了している）。 ■留学生：大学院においては一般入試による留学生受入に加え、海外居住者対象特別選抜、国費留学生優先配置特別プログラム等を行う。さらにグルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラムを準備している（R5年9月開始予定）。学士課程においては、英語プログラムを継続実施するとともに、令和7年度から学群入学定員の5%を留学生や帰国生徒等を対象とした募集人員として設定する。	■女子学生：筑波大学の理系女子学生コミュニティ「Co-Lab」を中心に、「のぞき見サイエンス」と題した女子中高生と女性研究者・女子学生が交流できるイベントを夏（対面：参加者133名）と冬（オンライン：参加者72名）の2回実施した。また、R6年12月23日に、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムのダイバーシティ推進校会議の担当拠点校として、担当校のお茶の水女子大学、静岡大学、琉球大学とともに、数理・データサイエンス・AI分野におけるダイバーシティ推進のため、「数理・データサイエンス・AI教育に関するDE＆I推進についてのシンポジウム－女子学生へ分野の魅力を伝える取り組み－」を開催し、ジェンダーギャップ解消のための先端的な取り組み事例について、情報収集・発信を行った。さらに、上記ダイバーシティ推進校会議の活動と連携し、女子高生の数理・データサイエンス・AI分野との関わりを促進するための取組みとして、出前授業および配布物作成を行うこととした。R7年度には、出前授業として、水戸二高（SSH）、土浦一校（DXハイスクール）および茨城県下の公立高校に対するオンライン講座を行うこととなっている。 ■社会人学生：システム情報工学研究群の対象学位プログラムでは、社会人特別選抜を実施し、R7年度入試では博士前期課程で11名（志願者11名）、博士後期課程で13名（志願者16名）の入学者を得た。また、長期履修制度についてはR7年度は博士後期課程で6名が利用し、博士後期課程を対象とした早期修了プログラムについてはR6年度において6名の修了者を輩出し、R7年度は16名が履修中である。人間総合科学研究群情報学学位プログラムでは、社会人特別選抜を実施し、R7年度入試では博士前期課程で3名（志願者6名）、博士後期課程で4名（志願者4名）の入学者を得た。長期履修制度については、R6年度は博士前期課程で9名、博士後期課程で8名が利用している。また、働きながら司書としてのキャリアアップ等を目指す履修証明プログラムである図書館経営管理コースを実施しており、R6年度は5名が修了した。 ■留学生：システム情報工学研究群の対象学位プログラムでは海外居住者対象特別選抜を実施し、博士前期課程で2名（志願者2名）の入学者を得た。また、国費留学生優先配置特別プログラム入試を実施し、博士前期課程で6名（志願者12名）、博士後期課程で4名（志願者8名）の入学者を得たほか、博士前期課程を対象としたグルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラムにおいて2名（志願者2名）の入学者を得た。さらに、学士課程において定員増の対象となった学類が定員の一部を拠出する外国人留学生を対象とした英語プログラム：総合理工学位プログラムにおいて16名（志願者186名）の合格者（R7年9月入学予定）を得た。人間総合科学研究群情報学学位プログラムでは、英語受験者特別選抜を実施し、博士前期課程で志願者16名に対し7名の合格者（R7年10月入学予定）、博士後期課程で志願者4名に対し4名の合格者（R7年10月入学予定）を得た。	

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
■Campus-in-Campus（CiC）協定（10校）、大学間国際交流協定（172校）、情報分野の部局間国際交流協定校（22校）を活用し、学生・教職員の派遣・受入を積極的に行う。（CiC：海外パートナー大学とのキャンパス機能の共有に向けた取組） ■これらの国際ネットワークを活用し、海外協定大学等の研究者を含む協働研究指導を可能とする「グローバル・マルチメンターシステム」を構築し、学生の研究の高度化と国際通用性を高める枠組みとして機能させる。 ■国際的にもリーダーシップを発揮できる高度情報専門人材の育成機能を強化する観点から、情報理工学位プログラム（博士前期課程）において、グルノーブル・アルプ大学（フランス共和国）とのダブル・ディグリープログラムを準備中である（R5年9月開始予定）。これを先導として、他の協定校とも同様な連携を図る。	■全学的な国際交流協定（Campus-in-Campus（CiC）協定：13校、大学間国際交流協定：177校（前年度比+7）、情報分野の部局間国際交流協定校：22校）を活用したGMMS（グローバル・マルチメンターシステム）の構築に向けた取組を進めており、GMMSの第一次試行として海外大学の教員との研究交流を行った。R6年11月に国立台北大学から筑波大学に訪問した教員および学生（教員4名、学生27名）と共同セミナーTsukuba x NTPU Bilateral Academic Exchange Programを開催し、関連学位プログラムから教員3名および4名の学生が研究発表を行い質疑応答を行った。また、R6年12月には吉林大学から筑波大学に訪問した教員および学生（教員3名、学生9名）と共同セミナー・研究室訪問を行い、関連学位プログラムの教員3名および3名の学生が研究発表を行った。 ■情報理工学位プログラムでは、博士前期課程を対象としたグルノーブル・アルプ大学（フランス共和国）とのダブル・ディグリープログラムにおいて、2名の学生を受け入れ（うち1名は中途で帰国）、2名の学生を派遣し、それぞれ授業履修と研究活動を行った。また、R7年度の学生として、先方から2名が合格し、本学から1名が先方への入学手続きを進めている。さらに、ルール大学ボーフム（ドイツ連邦共和国）との博士前期課程を対象としたダブル・ディグリープログラムについて、R8年度からの開始に向けて協定締結の準備を進めた。 ■知能機能システム学位プログラムでは、TSUKUBA Short-term Study Programとして、フランス、インド、コロンビア、中国の学生を2－3ヶ月の短期留学生として受け入れた。 ■情報学学位プログラムの学生1名がシカゴ大学サマーリサーチプログラムに参加し、研究活動を行った。 ■数理・データサイエンス・AI（MDA）教育推進室では、R6年10月に、R7年度応用基礎レベルの認定取得を目指している小山高専からの要請に応じて、小山高専との対話の機会を設け応用基礎レベルの申請書におけるモデルカリキュラムのカバー範囲やプラス認定を受けるための留意点について助言を行った。	

４－２.審査要項における確認項目（３つの取組、６つの観点）の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れ申請時の計画を記載してください（３つの取組のみ計画の記載は不要です）。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

＜３つの取組＞

■ チェック [１]海外のトップ大学と連携するなどして、デジタル分野の第一人者として国際的に活躍できる世界トップレベルの研究者や技術者の輩出を図る取組となっているか。
□ チェック [２]デジタル人材の不足を解消するために、自大学の教育の高度化や定員の大幅な拡充を図るのみならず、他の大学・高等専門学校の学生も広く参加可能な優れた情報教育プログラムを横展開させる取組となっているか。
■ チェック [３]地域や国の産業戦略とも連携しながら、企業等の具体的な実務課題の解決に取組むことで企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材を継続的に多数輩出することにより、地域や我が国の産業振興に大きく資する取組となっているか。

取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
[１]海外のトップ大学と連携するなどして、デジタル分野の第一人者として国際的に活躍できる世界トップレベルの研究者や技術者の輩出を図る取組となっているか。 GMMSとして以下の取組を行っている。 ■情報理工学位プログラムでは、R6年12月にグルノーブル・アルプ大学（フランス共和国）、ルール大学ボーフム（ドイツ連邦共和国）と共同で、各大学のプログラムや研究分野などを紹介するワークショップを開催し、互いの理解や今後の連携を深める取り組みを行った。 ■GMMSの第一次試行として海外大学の教員との研究交流を行った。国立台北大学と吉林大学から訪問した教員および学生と2回の共同セミナーを開催し、関連学位プログラムに所属する学生計7名が研究発表を行い、海外大学の教員からさまざまな研究に関するフィードバックを得られた。 ■GMMSによって参加する海外大学の教員や他機関の研究者を確保するために、同大学内のヒューマンエンパワーメント推進局と連携し、学外の研究者との研究交流を促進するための学生-教員-研究者マッチングシステムの仕様を策定し、構築を進めている（R8年度展開予定）。 ■異分野融合ゼミナールとして、オムニバス型の講義（全6回）を行い、各回の講義では学内の研究者1名と他機関で世界で活躍する研究者1名を招き、最新のMDA研究、自身のキャリアパスなどを紹介してもらった上で、30名程度の学生と、総合討議を行った。先端的な研究活動を知るだけではなく、女性や若手の研究者も招き、修士課程や博士課程の学生にとって身近な研究者像をもってもらうことで、人材育成につなげている。 ■後期研究留学として、米国・Washington State University、オーストラリア・The University of Queensland、香港・The Hong Kong University of Science and Technologyに計3名が留学し、都市交通・機械学習・都市熱環境に関するデジタル分野の最先端の研究に従事した。国際協働と専門的知見の深化の機会を提供し、当該分野で世界的に活躍する研究者の育成につながった。 [３]地域や国の産業戦略とも連携しながら、企業等の具体的な実務課題の解決に取組むことで企業等のニーズを踏まえた高度情報専門人材を継続的に多数輩出することにより、地域や我が国の産業振興に大きく資する取組となっているか。 LCHS（「修学×キャリア」ハイブリッド支援システム）として以下の取組を行っている。 ■48の企業・団体との新たな連携関係を構築した。また、株式会社セガと人材育成戦略パートナーシップを締結し、特に連携に前向きな企業との連携関係を強化した。こうした企業等が参加する授業やセミナーを複数実施するなど、高度情報専門人材を育成するための基本的なしくみを構築・強化した。 ■R7年1月14日に、つくばスーパーサイエンスシティ構想担当のつくば市政策イノベーション部科学技術振興課、（一社）つくばスマートシティ協議会との共催で、市役所、大学と市民が共に地域課題の解決について考えるHackMyTsukuba2024を「つくばヘルスケア：人生100年、つくば市での私らしい暮らし」をテーマとして開催し、データ分析につながる地域課題の発掘を行った。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	筑波大学

＜６つの観点＞

①　大学院博士課程を含め、情報系分野の大学院において、大規模な定員増を実施する計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士前期課程90人、博士後期課程16人を増員する計画である。この計画により、 【博士前期課程】これまでの合計募集人員270人に対し、33.3%の定員増。R2からの実入学者数の年平均値330人に対し、合計新規定員360人 【博士後期課程】これまでの合計募集人員53人に対し、30.1%の定員増。R2からの実入学者数の年平均値67人に対し、合計新規定員69人 となる。この増員とともに、前記の３つの取組を行い質的な向上を図る。本事業により、トップ人材育成の実施母体である博士後期課程とその裾野となる博士前期課程を拡充し、また学士課程の増員も行って、トップ人材育成の基盤を強化する。増員対象組織は、これまで学生確保の十分な実績を有しており、増員後も安定的な学生確保が可能である。	■博士前期課程においては、90人（33.3%）の定員増をR6年度に実施済である。実施定員増に応じた募集人員により入学試験を行った結果、今年度は合計新規定員360人に対し362人の入学者を得た。 ■博士後期課程においては、R7年5月に文部科学省への事前相談を計画しており、R8年度からの増員に向け準備を進めている。 ■学士課程においては、R5年度中に文部科学省へ提出済の「収容定員関係学則変更計画書」の結果について、R6年6月に「可」とされ、申請時の計画に従い、これまでの合計募集人員280人に対し、31人の定員増を行った。定員増に応じた募集人員により入学試験を行った結果、合計新規定員311人に対し314名の入学者を得た。今後さらに秋入学者を得る予定である。	

②　広く企業や自治体等と連携し、企業や自治体等が求める人材ニーズに的確に応える計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士学位取得と社会でのキャリア形成を同時進行するLCHSを構築し、博士後期課程に進学した学生に、学生が志向するキャリア形成に資する長期インターンシップ等を組み込んだエキスパート人材育成を展開する。博士前期学生に対して、就職希望先との繋がりを確保しつつ博士後期に進学できるよう、企業との戦略的パートナーシップを構築し、これまで博士後期進学が望まれながらも修士取得後就職を選択していた優秀な学生層に対して、博士学位取得への強いインセンティブを創出し、社会の人材ニーズを的確に捉えたより高度な情報専門人材を輩出する。すでに本学は学生への給付金を含む企業とのパートナーシップ協定を2件締結しており（後述）、今後も拡充を図りながら取組を推進する。また、R4年度につくば市が内閣府「スーパーシティ型国家戦略特区」に指定を受けた「つくばスーパーサイエンスシティ構想」では、大学・国研連携型スーパーシティの実現が掲げられている。その実現に向けた取組の中で、デジタル・情報系分野の教育研究の一層の高度化を図る。	■LCHS構築の一環として、R7年1月8日に、株式会社セガと「MDA人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結した。今後、両者は対話を深め、メタバースおよびエンタテインメント工学分野をリードする人材の育成・教育支援を行う株式会社セガと本学が、先鋭的な人材の発掘および育成に向けて、数理・データサイエンス・AI(MDA)分野での実務および研究の共同遂行並びに当該分野の人材育成に関し、相互に協力する。また、筑波大学の学生をセガに派遣するなど、MDA分野をリードする人材の育成を推進する。 ■スーパーシティ型国家戦略特区に指定されているつくば市の政策イノベーション部と協議しながら、協働で課題解決に取り組める実務課題を特定し、その実務課題の解決に関心のある全学の博士前期・後期課程学生とつくば市の実務担当者によるワークショップ型の課題解決学習（PBL）を進めている。具体的には「MDAトップ人材養成特別演習」という科目において、博士前期・後期課程の5人の学生、つくば市都市計画部サイクルコミュニティ推進室の実務専門家と実社会の第一線で活躍中のデータサイエンティストが、つくば市が運営するシェアサイクル「つくチャリ」の赤字解消問題を題材として取り組み、需要予測に基づくポートの移設と自転車車両の再配置の最適化によって赤字を改善する提案を行った。	

③　連携企業等からの寄附等、外部資金の持続的な獲得が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士レベルの高度情報専門人材育成の充実を図るため、企業が寄付金も拠出する戦略的パートナーシップ協定の締結を順次進めている。この協定に基づき、学生は企業においてDX分野の共同実務及び共同研究に従事して実践的能力を高めるとともに、相応の給付金を得る。現在、「NEC・筑波大学DXリーダー育成戦略パートナーシップ協定」（R4.4締結）と「UiPath・筑波大学DXスペシャリスト育成戦略パートナーシップ協定（R4.11締結）の２協定を締結しており、今後も同種の協定を増やし、寄付金総額も増加するよう勧誘する。なお、システム情報工学研究群関係では、企業・研究機関とのコンソーシアムを基盤として学位プログラムを運営する協働大学院方式も独自に設けており、外部専門家47人が、連携大学院教員・協働大学院教員として研究指導等に参画している（R4.5.1現在）。これらにより産業界等との連携を深め、学外の人的・物的リソースを活用し大学院教育の充実・高度化も進める。この連携が学内教員との共同研究も生み、共同研究費などの獲得にも繋げる。	■R6年6月には、「MDA人材育成戦略パートナーシップ協定」を締結した1社より人材育成支援の寄附金を受領し、さらに約50社からも年度内に寄附金を獲得した。R7年1月には株式会社セガと同協定を締結しており、今後も研究教育寄附金の獲得が見込まれている。 ■システム情報工学研究群では、外部専門家38人（R7.5.1現在）の参画を得て、連携大学院方式及び協働大学院方式による研究指導を実施し、産業界等との連携の深化と、大学院教育の充実・高度化に引き続き務めている。	

④　高度情報専門人材を育成する大学・高等専門学校において質の高い教育を行う教員を養成・輩出する取組（当該分野の大学教員等の育成）を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学MDA教育のトップ人材育成においては、イノベーション創出力に優れ、かつ社会が要請するMDA人材を育成できる素養を持ち、アカデミアや産業界のリーダーとなる人材の育成を目指している。このため、特に優秀な学生を10名程度選抜し、「トリプル・メンター制」（MDA分野、学際的融合研究を実施する分野、MDA関連企業等から各１名を指定し第一級の研究者３名による研究指導）、「トップ人材養成特別演習」（トップ企業人やベンチャー企業人により徹底して人材育成とMDA応用のスキルを涵養）、「特別リサーチアシスタントへの任命」（計算科学研究センターにおいて高度なAI研究に従事）による特別教育を行う枠組みがすでに構築されている。この枠組みの中に、GMMSから参画できる教員や研究者を加えることができ、この枠組みがさらに強化できる。特にGMMSに参加する海外大学の優れた教育方法も参照でき、学生が将来アカデミアになった場合の教員資質の向上にも役立つ。博士後期課程の学生が担当教員の下で授業も行うティーチング・フェローの制度により、これらに係る研修及び業務の経験から指導者としての資質向上も図られる。	■データサイエンス・エキスパート・プログラム（DSEP）の修了認定証取得者を5名輩出した。そのうち1名は博士後期課程修了と同時にデータサイエンス分野の大学（慶應義塾大学理工学部管理工学科）の助教として着任している。 ■筑波大学分野融合型MDA教育推進本部が数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム関東ブロックと共催でR7年2月3日にFDセミナー「分野融合型でシームレスな筑波大学MDA教育の全貌とPBLを核とした企業連携」を開催し、全国の大学等から153名の参加を得た。	

⑤　連携企業等から実務経験のある人材の大学への派遣、学生が連携企業等においてインターンシップを実施する体制の構築、連携企業等との共同研究実施が見込める計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
博士学位取得と社会でのキャリア形成を同時進行するLCHSを構築する過程で、学生が連携企業等においてインターンシップを行う体制が整う。また、本学MDAトップ人材育成の枠組みにおいて、連携企業からの実務経験のある技術者あるいは企業研究者が講義を担当する科目も開設しており、増員対象組織の大学院に属する学生は、これらの講義を受講できる。なお、前述のように、学生が企業においてDX分野の共同実務及び共同研究にインターンシップとして従事して実践的能力を養うとともに、給付金を受けることができることを定めた協定を２件すでに締結しており、今後も同種の協定企業を増やす。また、連携大学院・協働大学院方式による外部専門家の研究指導等への参画を継続・充実させる。さらに、ハイレベル枠の取組の説明の3番目で記したように、デジタル・情報系に関わる民間企業の研究所を含む外部研究機関とのネットワークを充実させ、学生が自身の研究遂行に資する指導が受けられると期待できる教員・研究者と繋がることを支援する枠組みを整える。これにより、企業との共同研究も創発される。	■R6年5月、7月、10月に学生と企業が直接繋がるためのセミナーを開催し、連携企業との関係をいっそう強化した。学生からは、「AIやデータサイエンスが実社会での現実課題の解決に利用されている事例を知ることができ、データサイエンスの重要性が理解できた」との声があった。また、R6年11月に連携企業を拡大するための取組を実施し、48社との新たな連携関係を構築した。さらに、長期インターンシップ先になり得る人材育成戦略パートナーシップ協定を新たに1社（株式会社セガ）と締結した。PwCコンサルティング合同会社をはじめとした複数の民間企業と新たなネットワークを構築し、随時対面及びオンライン打合せを開催するなど、学生等と繋がるためのしくみ作りと情報交換を行った。 ■情報理工学位プログラムでは、NPO法人CeFIL、デジタルビジネスイノベーションセンター（DBIC）の支援を受け、産業界から招いた講師による講義や演習を通して、ICTを活用してイノベーションを起す人材を育てることを目指す授業「ICT社会イノベーション特論」を実施した。	

⑥　他大学等の学生も参加できる情報教育プログラムの実施や教材作成等を含む質の高い取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
他大学と共同した教育活動として、グルノーブル・アルプ大学とのダブル・ディグリープログラム（修士）が令和5年度中に開始される予定であり、本計画の先導となる。この枠組みを本計画でも取り込むことにより、本学と相手大学双方の教育課程を履修しそれぞれの学位を取得することができる。この種の海外協定を今後増やす。このプログラムは相手大学の学生も参加し、相互の学生が参加する情報系のスキル向上を目指すPBLや研究討論などを行うことを計画している。相手大学の学生との交流により、本学の学生が自ら、他大学の教育・研究内容との相違や利点などを知ることもできる。なお、その学生の外部組織での経験が、本学内の指導教員に伝わることにより教員自身の啓発にもつながる可能性もある。この場合は、当該学生が本学内の指導教員に様々な経験を伝えるリバースメンターとなることになるが、その過程で当該学生のティーチング力もまた磨かれることになる取組である。LCHSの取組による企業インターンの経験も含め、学生が受けることが可能な経験が多層的になることが大きな特長である。本学のMDA教育実践の成果は対象学生の体験などもふまえた内容とし、学生の協力も得てマニュアル教材化し、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム等を通じて他大学と共有する。	■博士前期課程を対象としたグルノーブル・アルプ大学（フランス共和国）とのダブル・ディグリープログラムにおいて、2名の学生を受け入れ（うち1名は中途で帰国）、2名の学生を派遣し、それぞれ授業履修と研究活動を行った。また、R7年度の学生として、先方からは2名が合格し、本学からは1名が先方への入学手続きを進めている。さらに、ルール大学ボーフム（ドイツ連邦共和国）との博士前期課程を対象としたダブル・ディグリープログラムについて、R8年度からの開始に向けて協定締結の準備を進めた。 ■GMMSの第一次試行として海外大学の教員との研究交流を行った。国立台北大学と吉林大学から訪問した教員および学生と2回の共同セミナーを開催し、関連学位プログラムに所属する学生計7名が研究発表を行い、海外大学の教員からさまざまな研究に関するフィードバックを得られた。 ■情報学学位プログラムでは、英語で実施される講義の受講を目的とした海外協定校からの短期留学生の受け入れを5名実施している。 ■数理・データサイエンス・AI（MDA）教育推進室では、「筑波大学データサイエンス・ケース・バンク」に問題解決ケースを22件追加掲載し、合計61件のケースを他大学等の教材として活用されるよう公開している。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	筑波大学

５－１.大学院（修士課程、博士課程）における学生の研究活動実績

令和6年度 大学院在籍学生の論文の採択・受賞状況や各コンペティション等の受賞状況、筆頭著者論文数等、学生の研究活動実績を記載してください。

■システム情報工学研究群対象学位プログラムの実績
・編著書の刊行数　13件
・国内外の学術雑誌（研究ジャーナル）への論文の採択・掲載（掲載決定も含む）　125本（うち、筆頭著者論文98本、査読付き論文124本）
・国内外の学会や会議、シンポジウム等での発表（ポスター発表も含む）　511件
・学術研究に関するコンペティション等での受賞等　78件
・官民の機関や団体等からの研究助成　47件

■情報学学位プログラムの実績
・査読制度のある学術雑誌へ投稿し受理された論文件数　17件
・査読制度のある国際会議録へ投稿し受理された論文件数　44件
・著書件数　8件
・口頭発表件数　88件
各種受賞
・学会、フォーラム受賞　16件
◎大学のウェブサイトの情報発信等URL（各種受賞：https://informatics.tsukuba.ac.jp/category/awards-cl/）

５－２.大学院（修士課程、博士課程）における学生の卒業後の進路状況

令和6年度 大学院卒業者の卒業後の進路状況を記載してください。就職先企業名や研究機関名、業種、職種、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。

【情報理工学位プログラム(博士前期)】：就職 109名、進学 17名、その他 15名
◆就職先内訳　企業・団体等：107名、教員：１名、研究員：１名、自営業：1名
主な就職先
・メーカー：ルネサスエレクトロニクス㈱、サントリーホールディングス㈱、セイコーエプソン㈱、パナソニック㈱、マイクロンメモリジャパン㈱、㈱小松製作所、㈱クボタ、㈱日立製作所、京セラ㈱、三菱電機㈱、
東京エレクトロングループ、日本電気㈱、富士通㈱、日産自動車㈱、本田技研工業㈱　等
・ソフトウェア・通信：GMOペパボ㈱、KDDI㈱、Meta、NECソリューションイノベータ㈱、SCSK㈱、キャップジェミニ㈱、ソニーネットワークコミュニケーションズ㈱、ソフトバンク㈱、チームラボ㈱、
デロイトトーマツコンサルティング合同会社、楽天グループ㈱、㈱NTTドコモ、㈱NTTデータ、㈱ソニー・インタラクティブエンタテインメント、日鉄ソリューションズ㈱、
日本アイ・ビー・エム　システムズ・エンジニアリング㈱、日本タタ ・コンサルタンシー・サービシズ㈱
・金融：損害保険ジャパン㈱
・マスコミ：㈱サイバーエージェント、㈱ADWAYS DEEE
・サービス：シンプレクス・ホールディングス㈱、ソニーグループ株式会社、㈱リクルート、㈱横浜DeNAベイスターズ、北陸電力㈱、株式会社ZOZO、㈱コアコンセント・テクノロジー　等
・研究員：国立研究開発法人産業技術総合研究所
・公務員：経済産業省特許庁
・教員　：成蹊大学
◆進学先内訳
主な進学先　筑波大学：15名、大阪大学：1名、京都大学：1名
【情報理工学位プログラム(博士後期)】：就職 17名、その他 3名
◆就職先内訳　企業・団体等：4名、教員：1名、研究員：4名、職務復帰：8名
主な就職先
・メーカー：日本電気㈱、富士通㈱、DJI JAPAN㈱
・ソフトウェア・通信：GMOインターネットグループ㈱、LINEヤフー㈱、Sansan㈱、㈱AIdeaLab
・マスコミ：㈱サイバーエージェント
・サービス：The University of Texas Southwestern Medical Center、㈱ソニーリサーチ
・研究員：国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人物質・材料研究機構、横浜国立大学
・公務員：筑波大学
・教員　：東洋大学

【知能機能システム学位プログラム(博士前期)】：就職 100名、進学 21名、その他 5名
◆就職先内訳　企業・団体等：98名、研究員：1名、職務復帰：1名
主な就職先
・メーカー：キヤノン㈱、ソニーセミコンダクタソリューションズ㈱、ソニー㈱、トヨタ自動車㈱、トヨタ知能電動車研究開発センター（中国）有限会社、パナソニック オートモーティブシステムズ㈱、パナソニック㈱、
マイクロンメモリジャパン㈱、ヤマハ㈱、ルネサスエレクトロニクス㈱、㈱　小松製作所、㈱デンソー、㈱リコー、㈱島津製作所、㈱東芝　研究開発センター、㈱日立製作所、三菱重工業㈱、三菱電機㈱、
川崎重工業㈱、東京エレクトロン㈱、日産自動車㈱、日清製粉グループ、日本電気㈱、富士通㈱、本田技研工業㈱　等
・ソフトウェア・通信：EYストラテジー・アンド・コンサルティング㈱、NTTデータ㈱、SBテクノロジー㈱、アクセンチュア㈱、ソフトバンク㈱、伊藤忠テクノソリューションズ㈱、楽天グループ㈱、㈱Cygames、
㈱NTTデータビジネスシステムズ、㈱NTTドコモ、㈱ソニー・インタラクティブエンタテインメント、㈱バンダイナムコスタジオ、㈱日立システムズ、東日本電信電話㈱(NTT東日本)、
日鉄ソリューションズ㈱、日本タタ ・コンサルタンシー・サービシズ㈱　等
・金融：㈱三菱UFJ銀行、住信SBIネット銀行㈱
・マスコミ：㈱TBSテレビ、㈱セブテーニ・ホールディングス
・サービス：㈱東京ドーム、㈱コナミアミューズメント、㈱コーエーテクモホールディングス、マンパワーグループ㈱、オープンハウスグループ
・商社：双日㈱
・公務員：総務省
・研究員：国立研究開発法人産業技術総合研究所
◆進学先内訳
主な進学先　筑波大学：19名、東京大学：1名、京都大学：1名
【知能機能システム学位プログラム(博士後期)】：就職 19名、その他 1名
◆就職先内訳　企業・団体等：6名、教員：2名、研究員：６名、職務復帰：5名、自営業：1名
主な就職先
・メーカー：CYBERDYNE㈱、SiCarrier, ヤマハ㈱、㈱OptoComb、㈱日立製作所、太原重工業㈱
・ソフトウェア・通信：Peace and Passion㈱、日本電信電話㈱
・サービス：ソニーグループ㈱、㈱リクルート
・官公庁・公社・団体：公益財団法人　鉄道総合技術研究所
・研究員：筑波大学、国立研究開発法人　量子科学技術研究開発機構放射線医学研究
・教員：筑波大学、青山学院大学

【情報学学位プログラム(博士前期)】：就職 36名、進学 15名、その他 6名
◆就職先内訳　企業・団体等：33名、公務員：1名、職務復帰：1名、自営業：1名
主な就職先
・メーカー：ヤマハ㈱、三菱マテリアル㈱、日産自動車㈱、日本電気㈱、富士電機E&C㈱
・ソフトウェア・通信：LINEヤフー㈱、NTTデータ㈱、EYストラテジー・アンド・コンサルティング㈱、KDDIアジャイル開発センター㈱、グローバルセキュリティエキスパート㈱、楽天グループ㈱、サンユ情報システム㈱、
日立システムズパワーサービス㈱、㈱Cygames、㈱NTTドコモ、㈱リンクアンドモチベーション　等
・マスコミ：㈱博報堂、日本経済新聞社
・サービス：あずさ監査法人、パーソルキャリア㈱、マンパワーグループ㈱、㈱アイテムワン、東日本旅客鉄道㈱
・公務員：経済産業省特許庁
◆進学先内訳
主な進学先　筑波大学：14名、岡山大学歯学部：1名
【情報学学位プログラム(博士後期)】：就職 2名、その他 1名
◆就職先内訳
主な就職先　企業・団体等：1名、職務復帰：1名
・マスコミ：㈱サイバーエージェント
・私立学校：文教大学学園

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	筑波大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

区分	指摘事項等	対応状況
選定時留意事項（R5年度）	女子学生確保のための方策について、分野の特有性を理解した上で積極的に取り組むことが求められる。	システム情報工学研究群の対象学位プログラムではオープンキャンパスの説明者に女子学生を起用し、ロールモデルの紹介や参加者との意見交換の機会を設けている。また、人間総合科学研究群情報学学位プログラムでは、大学院説明会において女子学生を起用し、現役大学院生としての経験談の紹介や進学希望者からの質疑応答の機会を設けている。

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	筑波大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

区分	指摘事項等	対応状況
選定時留意事項（R5年度）	女子学生確保のための方策について、分野の特有性を理解した上で積極的に取り組むことが求められる。	・数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムのダイバーシティ推進校会議の担当拠点校として、担当校のお茶の水女子大学、静岡大学、琉球大学とともに、数理・データサイエンス・AI分野におけるダイバーシティ推進のため、「数理・データサイエンス・AI教育に関するDE＆I推進についてのシンポジウム－女子学生へ分野の魅力を伝える取り組み－」を開催し、ジェンダーギャップ解消のための先端的な取り組み事例について、情報収集・発信を行った。また、上記ダイバーシティ推進校会議の活動と連携し、女子高校生の数理・データサイエンス・AI分野との関わりを促進するための取組みとして、出前授業および配布物作成を行うこととした。R7年度には、出前授業として、水戸二高（SSH）、土浦一校（DXハイスクール）および茨城県下の公立高校に対するオンライン講座を行うこととなっている。出前授業を通じて、女子高校生に伝わる内容を明らかにし、配布物作成に活かす。 ・システム情報エリアでは、教育研究環境の向上のため、学内予算に教員有志からの寄附を加えて女子トイレを全て洋式トイレにする改修を進めている。 ・理工学群の広報を基礎として女子高校生の理系進学を促し、それによって近い将来、理系の女性研究者を増やすという構想の下、教育組織と研究組織が連携して広報用動画の制作を進めている。 ・理工学群工学システム学類では、工学システム×理系女子学生トークセッションのYouTubeビデオを公開し、学類で活躍する女性教員と在籍女子学生との対話を提示し、さらに、卒業時に女子学生を対象とする表彰（Futureship賞、2024年度は3名）を行うなど、女子学生の比率の向上に向けた活動を継続している。 ・情報学群では学群を構成する3学類の女性教員及び女子学生を対象としたアンケート調査を行い、女子学生比率向上のための課題抽出を行った。 ・情報学群情報科学類および情報メディア創成学類では、オープンキャンパス等で、女性向け企画（女性教員や女性学生等をメインとした座談会や講演等の企画）を実施した。また、パンフレット全体の雰囲気をより親しみやすいものにしたり、ウェブページやパンフレットに女性を登場させる頻度を高くしたりするなど女子学生を意識した広報も行っている。

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

<合計>

大区分	小区分	年度 項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	53	53	53	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	62	61	79	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	10	6	19	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	21	22	20	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	26	23	26	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	12	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	3	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	5	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	6	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	53	53	53	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学者数（B）	人	74	67	79	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		女子学生数	人	13	7	19	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		社会人学生数	人	26	27	20	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		留学生数	人	32	25	26	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.40	1.26	1.49	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	159	159	159	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	199	224	259	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.25	1.41	1.63	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	46	43	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		就職者数	人	42	38	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	4	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	大学院博士課程	満期退学者数	人	1	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		学位取得者数	人	47	44	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	23	27	39	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	14	14	14	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

１－２.修士課程

<合計>

大区分	小区分	年度 項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	270	360	360	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	327	356	362	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	51	56	56	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	8	11	17	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	65	77	81	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	6	6	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	2	1	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	6	6	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	270	360	360	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学者数（B）	人	333	362	362	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		女子学生数	人	53	57	56	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		社会人学生数	人	8	11	17	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		留学生数	人	71	83	81	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.23	1.01	1.01	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	540	630	720	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	715	743	763	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.32	1.18	1.06	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	316	324	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		就職者数	人	255	245	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	36	53	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	25	26	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	25	30	40	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	14	14	14	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

1－3.学士課程

＜合計＞

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	258	258	271	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	258	258	271	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	36	31	32	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		編学生数	人	3	7	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	その他の学期	入学定員	人	2	2	7	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数	人	3	3	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	1	1	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		編学生数	人	2	1	***	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
	入学者合計	入学定員（A）	人	260	260	278	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学者数（B）	人	261	261	271	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		女子学生数	人	37	32	32	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		社会人学生数	人	0	0	0	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		編学生数	人	5	8	5	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.00	1.00	0.97	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	1,080	1,080	1,111	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		編入学定員	人	20	20	33	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		在籍者数（D）	人	1,131	1,141	1,146	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		編入学者数	人	37	28	36	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.06	1.03	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	274	283	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	54	40	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進学者数	人	216	226	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		その他	人	4	17	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		進路不明	人	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	70	65	71	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		授業科目の単位数	単位	706	671.5	715	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

本事業対象となる研究科等の個数	3

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定																		
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	25	25	25																
		入学者数	人	28	27	27																
		女子学生数	人	2	3	3																
		社会人学生数	人	13	11	6																
		留学生数	人	12	13	13																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	7	5																	
		女子学生数	人	2	1																	
		社会人学生数	人	3	4																	
		留学生数	人	3	2																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	25	25	25	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	35	32	27	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	4	4	3	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	16	15	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	15	15	13	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.40	1.28	1.08	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	75	75	75																
		在籍者数(D)	人	85	96	104																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.13	1.28	1.39	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	22	20	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	20	17																	
		進学者数	人	0	0																	
		その他	人	2	3																	
		進路不明	人	0	0																	
	大学院博士課程	満期退学者数	人	1	3																	
		学位取得者数	人	23	21																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	14	15	25																
		授業科目の単位数	単位	6	6	6																

大学名	筑波大学

(2)

改組組織名	理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定																		
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	16	16	16																
		入学者数	人	22	19	29																
		女子学生数	人	3	1	5																
		社会人学生数	人	6	8	9																
		留学生数	人	9	2	7																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	3	1																	
		女子学生数	人	0	0																	
		社会人学生数	人	2	1																	
		留学生数	人	1	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	16	16	16	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	25	20	29	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	3	1	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	8	9	9	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	10	2	7	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.56	1.25	1.81	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	48	48	48																
		在籍者数(D)	人	73	79	88																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.52	1.65	1.83	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	16	20	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	15	19																	
		進学者数	人	0	0																	
		その他	人	1	1																	
		進路不明	人	0	0																	
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	0																	
		学位取得者数	人	16	20																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	7	8	8																
		授業科目の単位数	単位	6	6	6																

大学名	筑波大学

(3)

改組組織名	人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定																		
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	12	12	12																
		入学者数	人	12	15	23																
		女子学生数	人	5	2	11																
		社会人学生数	人	2	3	5																
		留学生数	人	5	8	6																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	2	0																	
		女子学生数	人	1	0																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	2	0																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	12	12	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	14	15	23	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	6	2	11	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	3	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	7	8	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.17	1.25	1.92	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	36	36	36																
		在籍者数(D)	人	41	49	67																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.36	1.86	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	8	3	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	7	2																	
		進学者数	人	0	0																	
		その他	人	1	1																	
		進路不明	人	0	0																	
	大学院博士課程	満期退学者数	人	0	0																	
		学位取得者数	人	8	3																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	2	4	6																
		授業科目の単位数	単位	2	2	2																

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

本事業対象となる研究科等の個数	3

1.本事業対象となる情報系組織の状況

1－2.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定	増員	完成年度																
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	116	150	150																
		入学者数	人	141	147	152																
		女子学生数	人	15	18	15																
		社会人学生数	人	5	7	6																
		留学生数	人	35	37	36																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	116	150	150	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	141	147	152	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	15	18	15	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	5	7	6	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	35	37	36	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.22	0.98	1.01	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	232	266	300																
		在籍者数(D)	人	299	308	308																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.29	1.16	1.03	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	129	141	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	109	109																	
		進学者数	人	13	17																	
		その他	人	7	15																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	16	18	26																
		授業科目の単位数	単位	6	6	6																

大学名	筑波大学

(2)

改組組織名	理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム

		フォローアップ対象年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定	増員	完成年度																
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	100	135	135																
		入学者数	人	127	138	128																
		女子学生数	人	16	16	13																
		社会人学生数	人	2	2	7																
		留学生数	人	17	20	27																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	100	135	135	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	127	138	128	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	16	16	13	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	2	2	7	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	17	20	27	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.27	1.02	0.95	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	200	235	270																
		在籍者数(D)	人	265	278	274																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.33	1.18	1.01	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	120	126	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	97	100																	
		進学者数	人	13	21																	
		その他	人	10	5																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	7	8	8																
		授業科目の単位数	単位	6	6	6																

大学名	筑波大学

(3)

改組組織名	人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム

		フォローアップ対象年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定	増員	完成年度																
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	54	75	75																
		入学者数	人	59	71	82																
		女子学生数	人	20	22	28																
		社会人学生数	人	1	2	4																
		留学生数	人	13	20	18																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	6	6																	
		女子学生数	人	2	1																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	6	6																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	54	75	75	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	65	77	82	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	22	23	28	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	1	2	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	19	26	18	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.20	1.03	1.09	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	108	129	150																
		在籍者数(D)	人	151	157	181																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.40	1.22	1.21	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	67	57	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	49	36																	
		進学者数	人	10	15																	
		その他	人	8	6																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	2	4	6																
		授業科目の単位数	単位	2	2	2																

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

本事業対象となる学部等の個数	3

1.本事業対象となる情報系組織の状況

1－3.学士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	理工学群工学システム学類

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定		増員			完成年度													
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	128	128	131																
		入学者数	人	128	128	131																
		女子学生数	人	14	13	12																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	1	4	0																
	その他の学期	入学定員	人	2	2	7																
		入学者数	人	3	3																	
		女子学生数	人	1	1																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	2	1																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	130	130	138	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	131	131	131	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	15	14	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	3	5	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.01	1.01	0.95	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	520	520	533																
		編入学定員	人	0	0	5																
		在籍者数(D)	人	527	532	532																
		編入学者数	人	9	1	6																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.01	1.02	1.00	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	125	128	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	12	14																	
		進学者数	人	112	110																	
		その他	人	1	4																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	43	35	39																
		授業科目の単位数	単位	245	223.5	238																

大学名	筑波大学

(2)

改組組織名	情報学群情報科学類

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定		増員			完成年度													
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	80	80	86																
		入学者数	人	80	80	86																
		女子学生数	人	10	6	8																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	2	2	4																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	80	80	86	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	80	80	86	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	10	6	8	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	2	2	4	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.00	1.00	1.00	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	340	340	350																
		編入学定員	人	10	10	14																
		在籍者数(D)	人	364	368	373																
		編入学者数	人	14	14	14																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.07	1.08	1.07	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	91	88	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	26	10																	
		進学者数	人	64	73																	
		その他	人	1	5																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	16	19	20																
		授業科目の単位数	単位	220	213.5	228																

大学名	筑波大学

（3）

改組組織名	情報学群情報メディア創成学類

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		フォローアップ対象年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定		増員			完成年度													
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	50	50	54																
		入学者数	人	50	50	54																
		女子学生数	人	12	12	12																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	0	1	1																
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																
		入学者数	人	***	***	***																
		女子学生数	人	***	***	***																
		社会人学生数	人	***	***	***																
		留学生数	人	***	***	***																
	入学者合計	入学定員(A)	人	50	50	54	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	50	50	54	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	12	12	12	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	0	1	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.00	1.00	1.00	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	220	220	228																
		編入学定員	人	10	10	14																
		在籍者数(D)	人	240	241	241																
		編入学者数	人	14	13	16																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.09	1.10	1.06	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	58	67	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	16	16																	
		進学者数	人	40	43																	
		その他	人	2	8																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	11	11	12																
		授業科目の単位数	単位	241	234.5	249																

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	53	53	53																
		入学者数	人	62	61	79																
		女子学生数	人	10	6	19																
		社会人学生数	人	21	22	20																
		留学生数	人	26	23	26																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	12	6																	
		女子学生数	人	3	1																	
		社会人学生数	人	5	5																	
		留学生数	人	6	2																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	53	53	53	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	74	67	79	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	13	7	19	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	26	27	20	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	32	25	26	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.40	1.26	1.49	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	159	159	159																
		在籍者数(D)	人	199	224	259																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.25	1.41	1.63	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	46	43	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	42	38																	
		進学者数	人	0	0																	
		その他	人	4	5																	
		進路不明	人	0	0																	
	大学院博士課程	満期退学者数	人	1	3																	
		学位取得者数	人	47	44																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	23	27	39																
		授業科目の単位数	単位	14	14	14																

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	270	360	360																
		入学者数	人	327	356	362																
		女子学生数	人	51	56	56																
		社会人学生数	人	8	11	17																
		留学生数	人	65	77	81																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	6	6																	
		女子学生数	人	2	1																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	6	6																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	270	360	360	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	333	362	362	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	53	57	56	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	8	11	17	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	71	83	81	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.23	1.01	1.01	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	540	630	720																
		在籍者数(D)	人	715	743	763																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.32	1.18	1.06	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	316	324	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	255	245																	
		進学者数	人	36	53																	
		その他	人	25	26																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	25	30	40																
		授業科目の単位数	単位	14	14	14																

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	258	258	271																
		入学者数	人	258	258	271																
		女子学生数	人	36	31	32																
		社会人学生数	人	0	0	0																
		留学生数	人	3	7	5																
	その他の学期	入学定員	人	2	2	7																
		入学者数	人	3	3																	
		女子学生数	人	1	1																	
		社会人学生数	人	0	0																	
		留学生数	人	2	1																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	260	260	278	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	261	261	271	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	37	32	32	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	5	8	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.00	1.00	0.97	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,080	1,080	1,111																
		編入学定員	人	20	20	33																
		在籍者数(D)	人	1,131	1,141	1,146																
		編入学者数	人	37	28	36																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.06	1.03	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	274	283	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
		就職者数	人	54	40																	
		進学者数	人	216	226																	
		その他	人	4	17																	
		進路不明	人	0	0																	
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	70	65	71																
		授業科目の単位数	単位	706	671.5	715																

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	627	627	627																
		入学者数	人	586	558	594																
	その他の学期	入学定員	人	0	0	0																
		入学者数	人	65	78																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	627	627	627	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	651	636	594	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	1.01	0.95	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	2,036	1,993	1,993																
		在籍者数（D）	人	2,673	2,672	2,739																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.31	1.34	1.37	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***

３－２.修士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,798	1,888	1,888																
		入学者数	人	1,884	1,870	1,898																
	その他の学期	入学定員	人	17	17	17																
		入学者数	人	103	95																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	1,815	1,905	1,905	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	1,987	1,965	1,898	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.09	1.03	1.00	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	3,630	3,720	3,810																
		在籍者数（D）	人	4,132	4,206	4,167																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.13	1.09	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

３－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	2,074	2,074	2,081																
		入学者数	人	2,135	2,120	2,125																
	その他の学期	入学定員	人	27	27	38																
		入学者数	人	49	47																	
	入学者合計	入学定員（A）	人	2,101	2,101	2,119	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	2,184	2,167	2,125	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.04	1.03	1.00	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	収容定員等	収容定員（C）	人	8,845	8,844	8,914																
		編入学定員	人	78	78	91																
		在籍者数（D）	人	9,635	9,634	9,573																
		編入学者数	人	122	96	105																
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.09	1.09	1.07																

４.外部資金の状況（全学）

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
競争的外部資金等の状況	全体	研究者数	人	2,351	2,366	2,349																
		外部資金獲得額	千円	17,247,252	17,192,704	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***
	共同研究	実施件数	件	616	686																	
		実施件数（民間企業からのみ）	件	544	604																	
		受入額	千円	2,384,677	2,405,856																	
		受入額（民間企業からのみ）	千円	2,155,435	2,118,720																	
	受託研究	実施件数	件	492	514																	
		実施件数（民間企業からのみ）	件	62	73																	
		受入額	千円	6,543,298	5,298,180																	
		受入額（民間企業からのみ）	千円	410,088	115,288																	
	寄附金	実施件数	件	667	645																	
		実施件数（民間企業からのみ）	件	222	171																	
		受入額	千円	2,288,316	3,204,680																	
		受入額（民間企業からのみ）	千円	439,910	437,907																	
	その他	受入額（上記に当てはまらないもの）	千円	6,030,960	6,283,988																	

大学名	筑波大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（ハイレベル枠）

特記事項

・以下に掲げる欄の入学定員0人とは、若干名を意味している。
理工情報生命学術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム（博士課程）　R7年度のその他の学期
理工情報生命学術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム（博士課程）　R7年度のその他の学期
人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（博士課程）　R7年度のその他の学期
人間総合科学学術院人間総合科学研究群情報学学位プログラム（修士課程）　R7年度のその他の学期
情報系組織の状況の博士課程のR7年度のその他の学期
情報系組織の状況の修士課程のR7年度のその他の学期
大学全体の状況の博士課程のR7年度のその他の学期
・学士課程理工学群工学システム学類におけるその他の学期の入学定員（R7年度）は理工学群応用理工学類と合わせて13名としている。